

再評価結果(令和7年度)

担当課：道路整備課

担当課長名：披田 毅

事業名	一般県道 徳島津田インター線 津田②地区 (徳島南部自動車道 徳島津田IC)	事業区分	地方道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県徳島市津田海岸町 至：徳島県徳島市津田海岸町			延長	1.1km
事業概要	<p>■本事業は、徳島南部自動車道と連結する「徳島津田IC(地域活性化IC)」のランプ部を整備するとともに、ICアクセス道路となる既存道路を改良するものである。</p> <p>■当該区間の整備により、木材団地に整備された「重要港湾 徳島小松島港(津田地区)」の活性化支援や、新たな産業・流通拠点の創出など、ストック効果の最大化、緊急輸送道路の強化等を図るものとする。</p>				
令和2年度事業化		-	令和2年度用地着手		令和2年度工事着手
全体事業費	89億円	事業進捗率	40%	供用済延長	0.5km
計画交通量	3,100台/日				
費用対効果 分析結果	【B/C】 <small>〔社会的割引率〕</small> 事業全体 1.1 [4%] <small>(参考)</small> 1.8 [2%] 2.3 [1%] 残事業 2.4 [4%] <small>(参考)</small> 3.6 [2%] 4.6 [1%]	【総費用】 残事業/事業全体 37.7/80.8億円 事業費： 37.3/80.4億円 維持管理費： 0.4/ 0.4億円	【総便益】 残事業/事業全体 88.7/88.7億円 走行時間短縮便益： 70.3/70.3億円 走行経費減少便益： 12.1/12.1億円 交通事故弁償便益： 2.4/ 2.4億円 環境負荷低減便益： 3.8/ 3.8億円	【基準年】 令和7年度	
	感度分析	【事業全体】 交通量： B/C=1.0~1.2(交通量±10%) 事業費： B/C=1.0~1.1(事業費±10%) 事業期間： B/C=1.0~1.1(事業期間±20%)		【残事業】 交通量： B/C=2.0~2.5(交通量±10%) 事業費： B/C=2.1~2.5(事業費±10%) 事業期間： B/C=2.2~2.4(事業期間±20%)	
【事業の効果等】					
<p>■地域活性化：「徳島小松島港津田地区活性化計画」に基づき、県南地域から津田木材団地への木材集積機能の強化や、津田地区と県南地域及び徳島小松島港(赤石地区)とのアクセス向上による物流機能の強化・効率化が期待される。</p> <p>■救急医療活動の支援：救急医療施設への迅速な緊急搬送や初期医療に繋がり、救命率の向上及び定時性の確保が期待される。</p> <p>■緊急輸送道路の強化：「第一次緊急輸送道路」である徳島南部自動車道と、「第二次緊急輸送道路」である徳島環状線を補完することにより、両路線の災害対応機能の強化が期待される。</p>					
【関係する地方公共団体等の意見】					
<p>■徳島市、津田コミュニティ協議会、津田木材団地連合会等より、「津田地区における追加IC設置にともなう整備促進」が要望されている。</p> <p>■令和6年度から県・市町村・議会・関係団体で構成する「徳島南部自動車道・阿南安芸自動車道・徳島自動車道等整備促進決起大会」を開催することにより、関係者がより一層連携し、整備促進に取り組んでいる。</p>					
【事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等】					
<p>■令和3年3月：徳島南部自動車道の徳島沖洲IC～徳島津田IC(2.4km)が供用。</p> <p>■令和4年3月：徳島南部自動車道の徳島JCT～徳島沖洲IC(4.7km)が供用。</p> <p>■令和5年9月：徳島南部自動車道の阿南IC～小松島南IC(3.2km)の令和7年度開通が公表された。</p>					
【事業の進捗状況、残事業の内容等】					
<p>■用地進捗率100%、事業進捗率40%</p> <p>■現在、橋梁上部工、道路改良工等を実施中。</p>					

